生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	潰瘍性大腸炎における尿中プロスタグランジンＥ主要代謝物の上昇機序の解明と炎症性発癌予測能の探索	
1.研究の目的と方法	潰瘍性大腸炎は、大腸に炎症が起こる病気で、原因ははっきりとわかっていません。症状を抑えることや、内視鏡検査で炎症が落ち着いた状態を目指して治療が行われますが、内視鏡検査は体への負担が大きく、頻繁に行うことはできません。そのため、体に負担がかからずに病気の状態を知ることが出来る検査（バイオマーカー）の開発が進められてきました。 そうした中、尿の中に含まれるプロスタグランジンＥ主要代謝物（PGE-MUM）という物質が、潰瘍性大腸炎の状態を反映する新しいバイオマーカーとして注目されています。これは体の中で炎症が起きた時に発生する「プロスタグランジンE2」という物質が分解された結果できるもので、尿から簡単に調べることができます。すでに2024年から日本では潰瘍性大腸炎の状態をみるための検査として医療保険で検査できるようになっています。 この研究では、潰瘍性大腸炎や大腸ポリープ（腺腫）、大腸がんと診断された患者さんの腸の組織や診療情報を比較することによって、潰瘍性大腸炎でPGE-MUMがどのように作られているのかを詳しく調べます。また、潰瘍性大腸炎に長くかかっている方に時々みられる「炎症に関連した大腸がん」との関係についても検討します。 この研究を通じて、PGE-MUMという尿検査が、どのように潰瘍性大腸炎の炎症を反映しているのかを調べ、さらに大腸がんになるリスクが高い方を見つけるのに役立つかについて評価する予定です。 この研究は、すでに診療や検査の際に得られた大腸の組織や診療情報を用いるもので、新たな検査や負担をかけることはありません。対象となる方の個人情報は特定の個人を識別できないように加工し、プライバシーに十分配慮した上で解析を行います。	
2.研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3.対象となる方等	2010年1月1日から2026年8月17日までの間に、附属病院で内視鏡検査や手術、病理解剖を受け、潰瘍性大腸炎、大腸腺腫、大腸がんと診断された 18 歳以上の方で、大腸を含む臓器組織が採取された方が本研究の対象となります。	
4.研究に利用する	(1)試料の種類	内視鏡検査や手術、病理解剖の時に切除した組織

<table>
<tr><td rowspan="3">試料・情報について</td><td>(2)試料の取得の方法</td><td colspan="2">診断や治療の時に作成された組織プレパラートの余りを使用させて頂きます。</td></tr>
<tr><td>(3)情報の種類</td><td colspan="2">診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡検査、病理検査)、手術記録</td></tr>
<tr><td>(4)情報の取得の方法</td><td colspan="2">診療録から診療時のデータを収集します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">5.研究の実施体制</td><td colspan="3">あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。
試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(1)当施設の研究責任者または研究代表者</td><td>研究機関名</td><td>東京慈恵会医科大学附属病院　消化器・肝臓内科</td></tr>
<tr><td>氏名</td><td>猿田　雅之</td></tr>
<tr><td>(2)当施設の長</td><td colspan="2">東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥</td></tr>
<tr><td>(3)当施設の試料・情報の管理責任者</td><td colspan="2">(1)の研究責任者と同じ</td></tr>
<tr><td>(4)共同で研究を実施する施設とその責任者</td><td colspan="2">この研究では共同で研究を実施する機関はありません。</td></tr>
<tr><td>6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて</td><td colspan="3">この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。
試料・情報の利用開始予定日：2025 年 8 月頃</td></tr>
<tr><td>【問い合わせ先】</td><td colspan="3">機関名：東京慈恵会医科大学　内科学講座　消化器・肝臓内科
研究責任者：教授　猿田　雅之（サルタ　マサユキ）
窓口担当者：大学院生　小松　暁（コマツ　アキラ）
電話番号：03-3433-1111（内線 3201）
対応時間：平日 9：00　～　17：30</td></tr>
</table>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。